

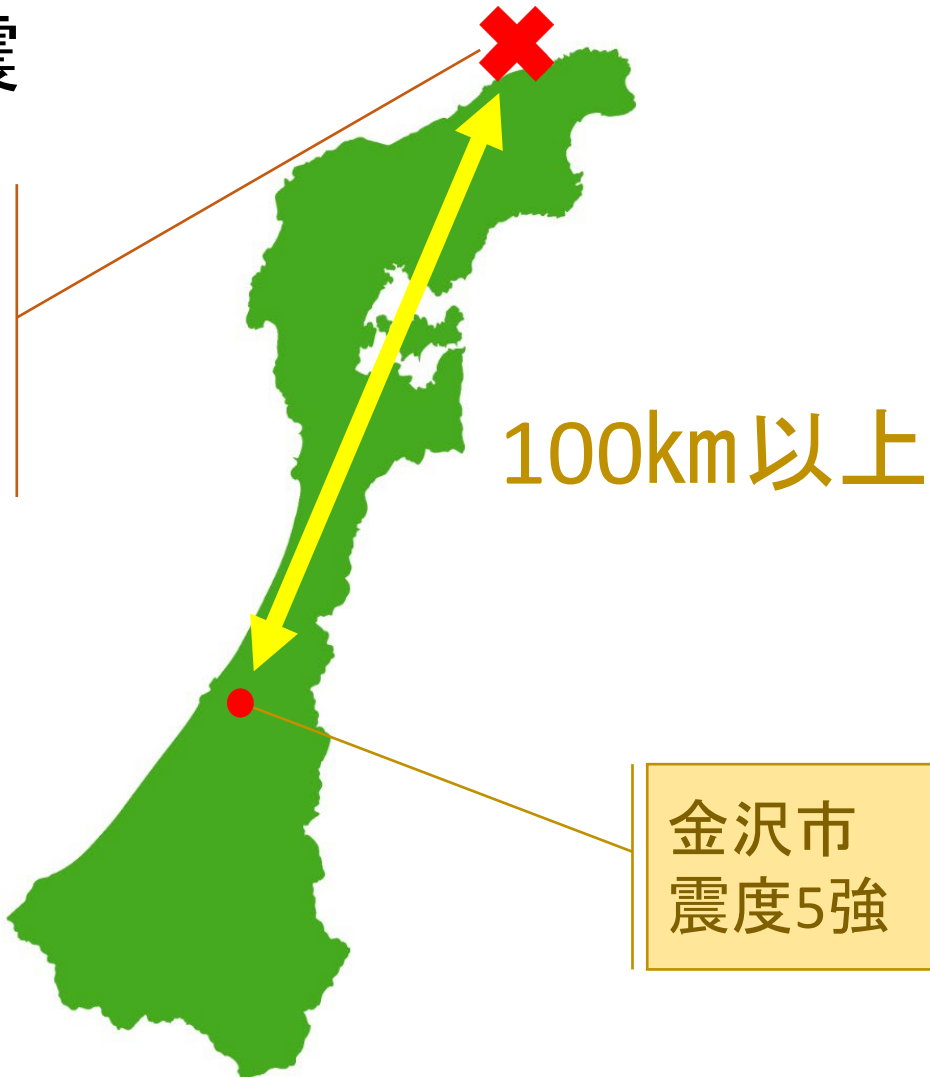
能登半島地震に対する 石川県建設業協会の対応

石川県建設業協会



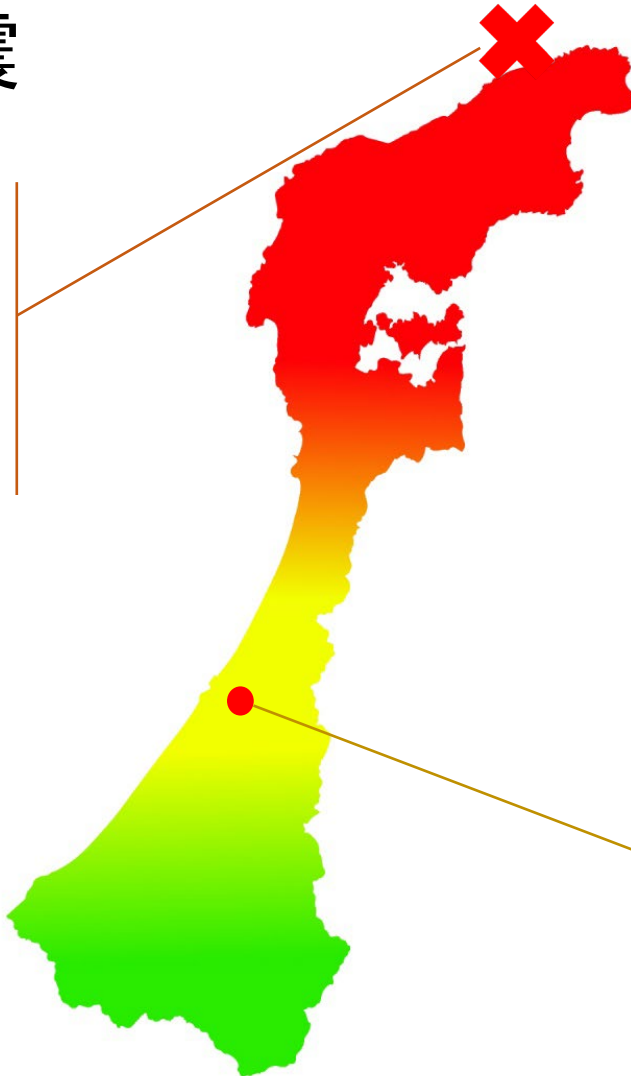
令和6年能登半島地震

2024年1月1日 16時4分
マグニチュード 7.6
最大震度 7



令和6年能登半島地震

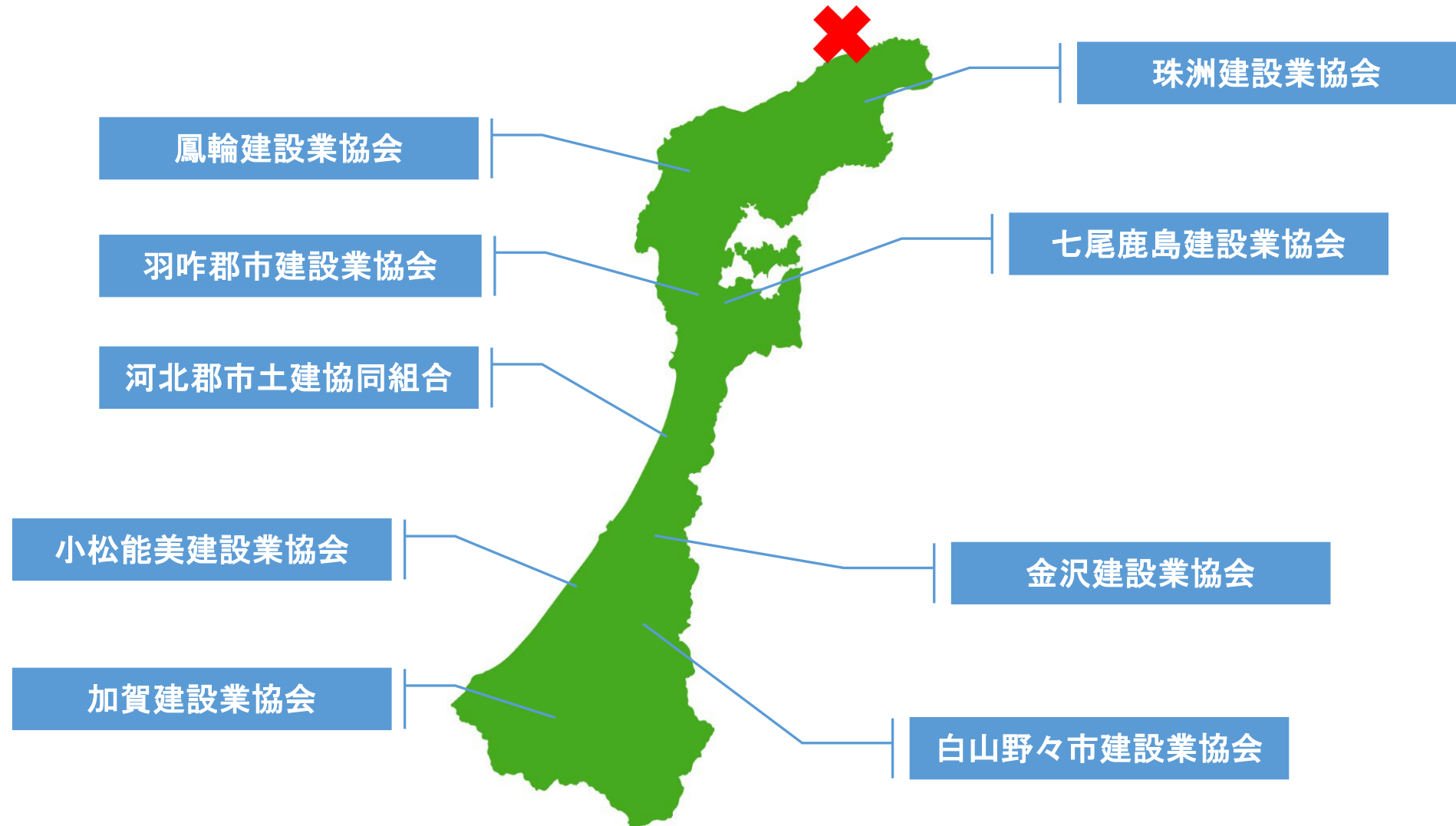
2024年1月1日 16時4分
マグニチュード 7.6
最大震度 7



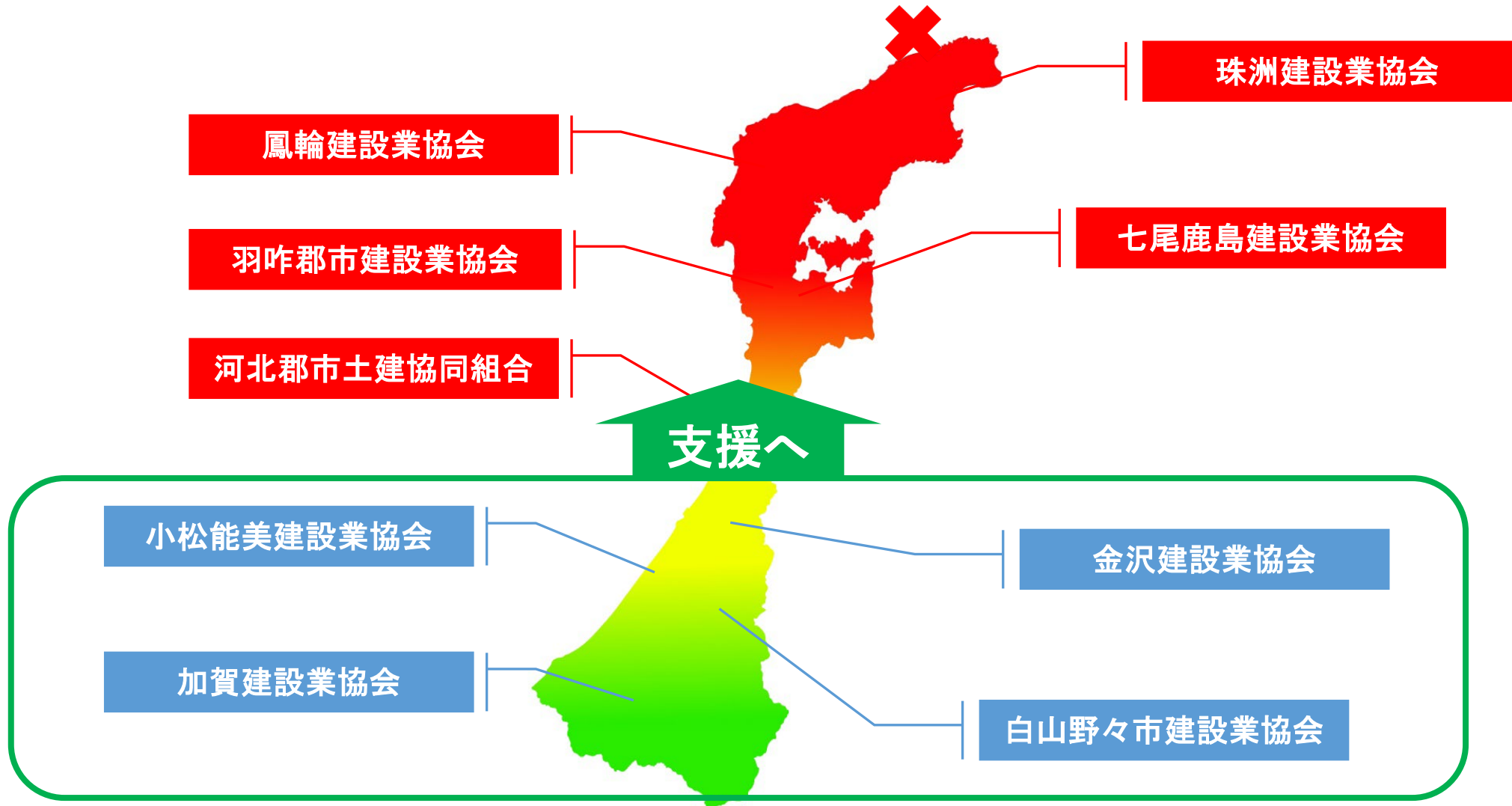
金沢市
震度5強



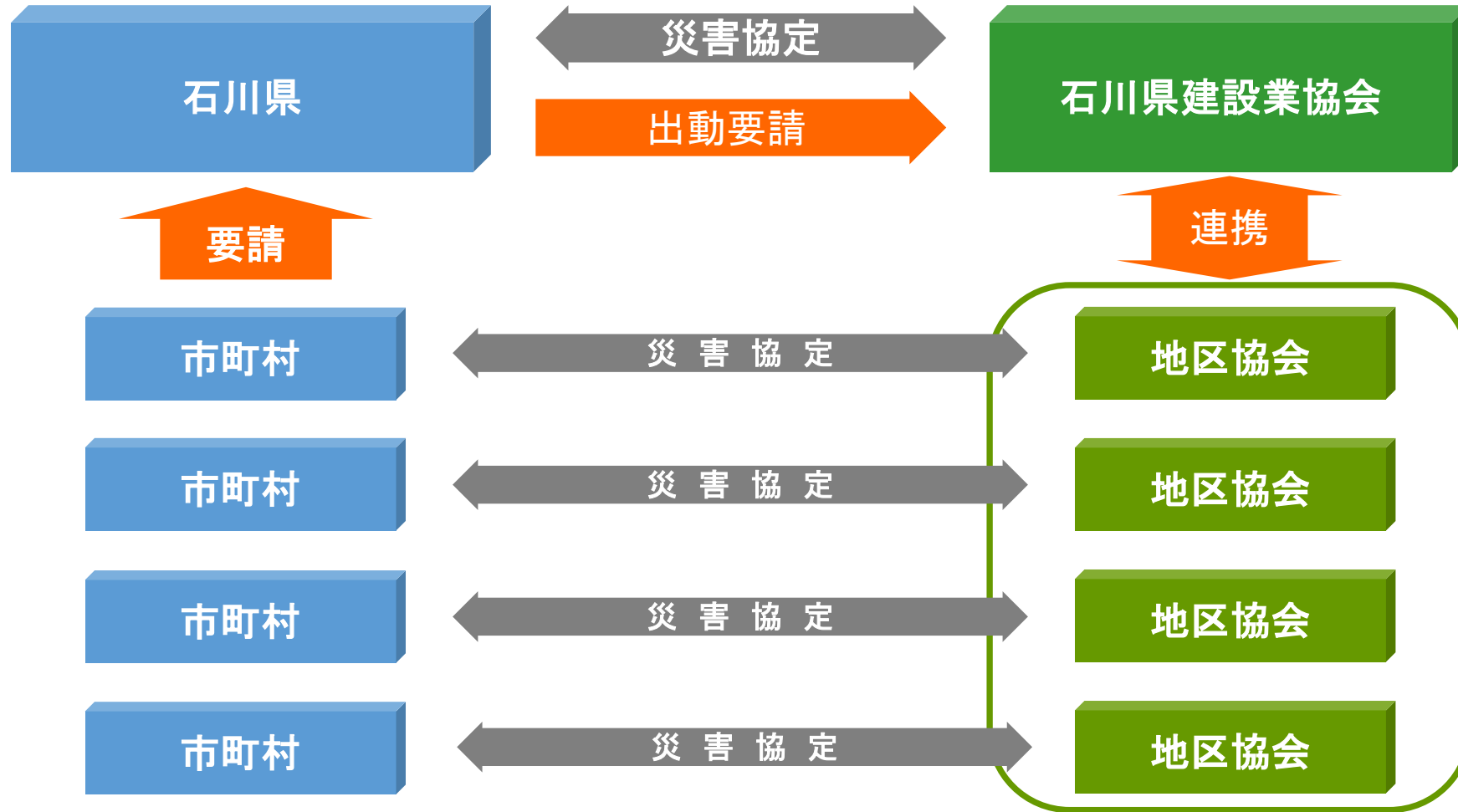
2. 建設業協会の概要



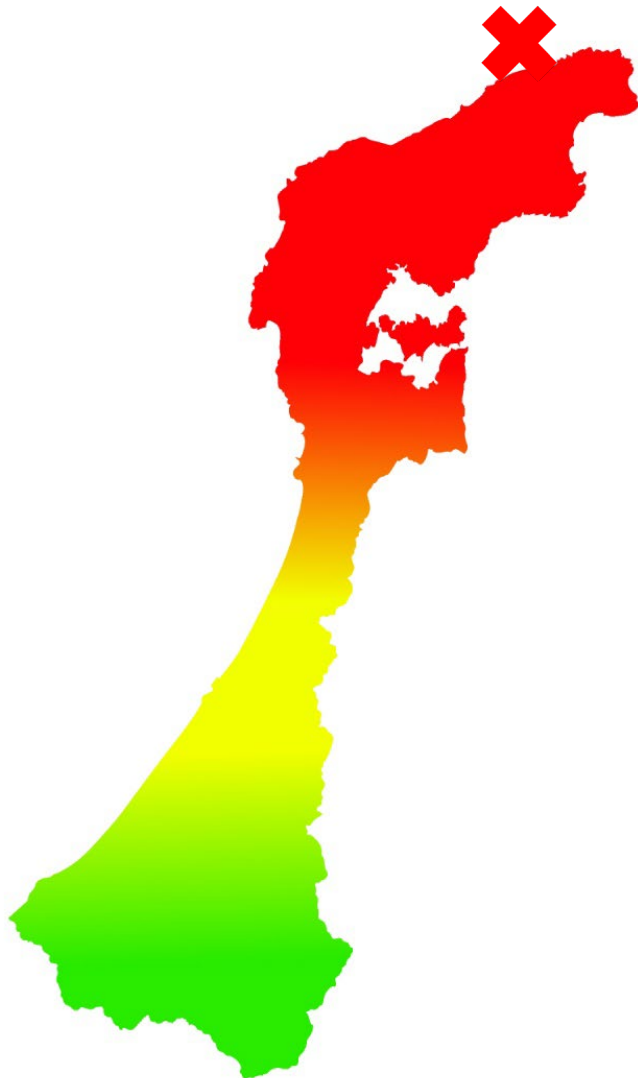
2. 建設業協会の概要



3. 災害協定



4. 災害への対応



- 🔥 1月1日 16時06分 震度5強
- 🔥 **1月1日 16時10分 震度7**
- 🔥 1月1日 16時18分 震度5強
- 🔥 1月1日 16時56分 震度5強
- 🔥 1月1日 20時35分 震度5弱
- **1月2日 石川県建設業協会内に災害対策本部設立**
- **1月2日 09時00分 石川県より派遣要請**
- 🔥 1月2日 10時17分 震度5弱
- **1月2日 11時00分 先遣隊の派遣**
- 🔥 1月3日 02時21分 震度5強
- **1月3日 金沢建設業協会 災害対策委員会招集**
- 🔥 1月3日 10時54分 震度5強
- **1月4日 本格的な応急復旧支援開始**
- 🔥 1月6日 05時26分 震度5強



前年の小松市での水害の教訓



先遣隊を派遣し、状況を調査

- ・現地までの道路状況の調査
- ・状況に対する装備品の把握
- ・資材等の現地調達可否
- ・食料、宿泊の確保可否

等



4. 災害への対応

1月2日 9時 現地に向けて出発



持参装備

- ・0.7m³バックホー
- ・上記搭載トレーラー
- ・随行車1台
- ・3日分の燃料、食料 等



1. 先遣隊の派遣



4. 災害への対応



4. 災害への対応



金沢建設業協会 災害対策委員会

先遣隊の情報より支援体制を構築

- ・資材、食料の現地調達不可 → 金沢より持参
- ・宿泊場所の確保困難 → 仮設住宅の確保
- ・道路幅が狭小 → 大型トラックの通行不可、0.45m³BHを10tに搭載
重機の共有
- ・携帯が繋がらない

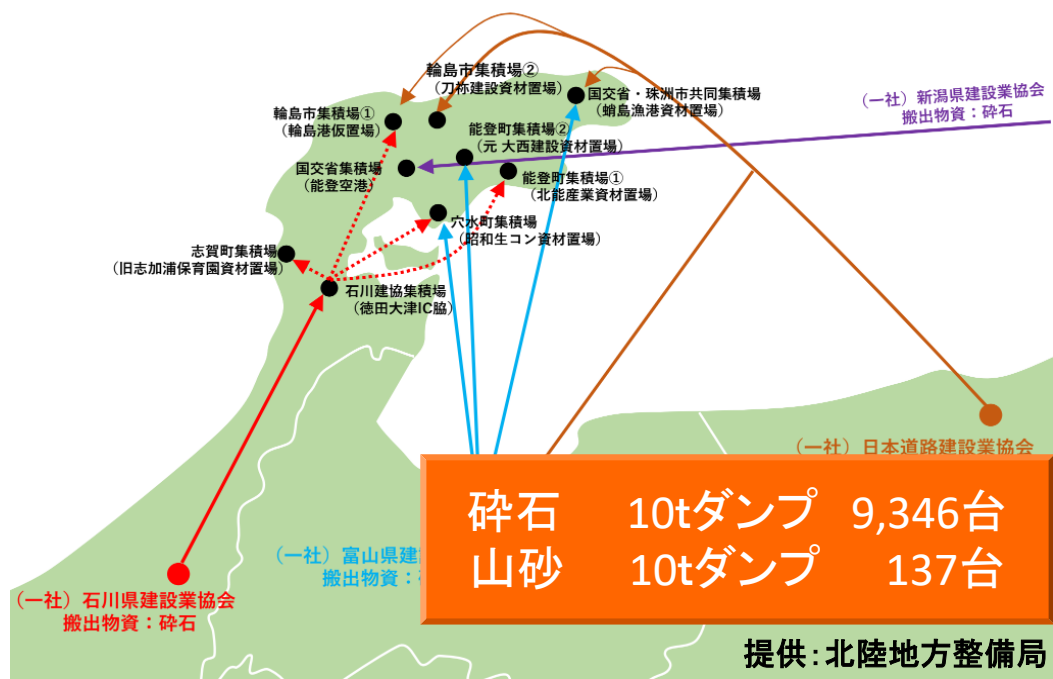
他の支援協会と情報を共有

1月2日～4月19日 145社 2,456班



石川県建設業協会

各種資機材の調達・運搬



発動発電機 100V15kva	2台
発動発電機 100V2kva	8台
ガソリン発電機 2k	5台
ポータブル発電機(ガソリン)	10台
LED バルーン 800w	5台
LED ミニバルーンナイター400w	5台
カラーコーン	3,200個
コーンバー	400本
電工ドラム	2台
ムカデコードドラム	3本
クッションドラム	20個
土のう	400枚
対候性大型土のう	12,480枚
水中ポンプ	16台
サニーホース	200m
コードリール	10m
投光器	10台
バレディーナ	6台
単管バリケード	50組

工事用信号機(ソーラータイプ)	6台
点滅灯	750台
ソーラー警告灯	112台
警告灯用重石	336個
矢印看板	70枚
通行止め看板	30枚
段差注意看板	150枚
全反看板通行止め	50枚
全反看板右折禁止	10枚
全反看板左折禁止	10枚
全反看板通り抜け	20枚
看板用重石	800個
敷鉄板	50枚
ロープ	数量不明
ブルーシート	数量不明
水	数量不明
食料	数量不明
自転車	数量不明
水袋	数量不明



石川県建設業協会

- ・被災者のための住宅の整備

県営住宅の空き室の緊急整備（給湯器や風呂釜、室内清掃等） 320室

- ・被災建物応急危険度判定

20社 34名

- ・国や石川県農林水産部からの要請

等々



災害対応で感じたこと

- ・実効性のある災害協定の締結
- ・業界をまたいだ連携の必要性
- ・情報共有の重要性



行政の負担を
いかに減らせるか



最後に

これまでご支援をいただいた皆様に感謝

復興はようやく本格化
今回の受賞を励みにこれからも復興に向け尽力

